

クリスマス・イヴ礼拝

2020年12月24日(木)18時30分



日本キリスト教団 浦河教会
元浦河教会

2020年 浦河教会・元浦河教会

クリスマス・イヴ 礼拝

司会者 早坂 潔
奏楽者 齋藤 仁
説教者 五味 一

前奏

奏楽者

祝福の交唱

司会者

「今夜、わたしたちのために、み子イエス・キリストを地上につかわしてくださった神の愛と祝福が、すべての人たちと共に、そしてすべての造られたものと共にありますように。」

会衆

「そしてまた、あなたと共にありますように。」

讃美歌

230「『起きよ』と呼ぶ声」 1番2回

会衆

祈り

司会者

主よ、あなたがお生まれになってから2000年余りがたちました。この世は、今も悪と不正、飢えと貧困、戦火と差別の中で苦しむ人々の声が地に満ちています。過ぎた一年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止で世界中が混乱し、例年通り、年の暮れ新年を迎えることが出来なくなりました。人が近寄り、目と目を合わせ、顔を寄せ合い、手に手をとり合うことの大切さ、声を掛け合い、大きな声、小さな声で歌い、肩を触れ合せて喜び、踊ることの幸いが、限らない神の恵みであることを覚え感謝します。何よりも人は、この交わりの中で人として育ちます。今、その恵みが奪われています。主よ、どうぞ来て下さい。2000年前、人々と共に苦しむためにお出でになったように、今、この暗い世にあなたの赦と希望の言葉をお聞かせ下さい。かつて来られたように、いつの世にも、みどりごととして来られる、主のみ名によって祈ります。アーメン。

新約聖書

ルカによる福音書2章8~14節

司会者

さて、その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。すると、主の天使が現れ、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、すべての民に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。あなたがたは、産着にくるまって飼葉桶に寝ている乳飲み子を見つける。これがあなたがたへのしるしである。」すると、突然、天の大軍が現れ、この天使と共に神を賛美して言った。

「いと高きところには栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ。」

天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行く。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った

讃美歌

263「あら野のはてに」 1番2番

会衆

新約聖書

ルカによる福音書2章15~1節

司会者

天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行って、主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼葉桶に寝ている乳飲み子を探し当てた。その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使から告げられたことを人々に知らせた。

讃美歌

259「いそぎ来たれ、主にある民」 1番

会衆

新約聖書

ルカによる福音書2章3~7節

司会者

人々は皆、登録するために、それぞれ自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家系であり、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身重になっていた、いなすけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがそこにいるうちに、マリアは月が満ちて、初子の男子を産み、産着にくるんで飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

説教

『お生まれだイエスさまが』

五味 一 牧師

讃美歌

Ⅱ117「おうまれだイエスさまが」

会衆

さんびか
讚美歌

264 「きよしこの夜」

会衆

しんやくせいしよ
新約聖書

ヨハネの手紙一 4章9節

司会者

神はひとり子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたち
が生きるようになるためです。

しゆくらく いの
祝福の祈り

五味 一牧師

主はあらゆる災いからあなたを守り あなたの魂を守ってください。
主はあなたの行くのも帰るのも守ってください。今より、とこしえに。
アーメン。

こう そら
後 奏

奏楽者

㊞ 使用聖書は「聖書協会共同訳」

Stille Nacht, heilige Nacht!
詞：Josef Mohr, 1782-1848

STILLE NACHT
曲：Franz Gruber, 1787-1863

き - よ し こ の よ る ほ し は ひ か り、

す く い - の み - 子 は ま ぶ ね - の な - か に

ね む り - た も う - 、 や - す ら - か に - 。

(♩=96)

- 1 きよしこの夜 星はひかり、
すくいのみ子は まぶねのなかに
ねむりたもう、やすらかに。
- 2 きよしこの夜 み告げうけし
ひつじかいらは み子の御前に
ぬかずきぬ、かしこみて。
- 3 きよしこの夜 み子の笑みに、
あたらしき代の あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。

ア - メ ン 。

「起きよ」と呼ぶ声

[1174]

Wachet auf, ruft uns die Stimme
詞：Philipp Nicolai, 1556-1608

WACHET AUF
曲：Philipp Nicolai, 1556-1608

1 「おきよ」とよぶこえ、
2 めざめしおとめら
3 「グロリア」とたたえよ、

ものみらさけびて、
ものみらのこえに。
たてごとかなでて。

ひびきわたるこえよ。
はなむこなる主
つどうせいとたち

いざ、ともしび
ひととなりし
いまだしらぬ

はなむこむかえよ、
せいなるうたげに
われらもうたもて

3 「グロリア」とたたえよ、
たてごとかなでて。
主の御座めぐりて
うたごえあわせて。
未だ知らぬ
われらもうたもて

あら野のはてに

Les anges dans nos campagnes
詞：フランス・キャロル，18世紀

IRIS (GLORIA)
曲：フランス・キャロル，18世紀

1 あらののはてに ゆうひはおちて、
2 ひつじをまもるのべのまきびと、
3 みうたをききて ひつじかいらは、
4 きょうしも御子は うまれたまいぬ。

たえなるしらべ あめよりひびく。
あめなるうたを よろこびききぬ。
まぶねにふせる み子をおがみぬ。
せかいのたみよ、よろこびうたえ。

(くりかえし)

グロ - リア

インエクセルシス デホ、グロ -

リア インエクセルシス デ - オ。

(♩=104)

1 あら野のはてに 夕日は落ちて、
たえなるしらべ 天よりひびく。

(くりかえし)

グロリア インエクセルシスデオ、
グロリア インエクセルシスデオ。

2 ひつじをまもる 野べのまきびと、
あめなるうたを よろこびききぬ。

3 みうたをききて ひつじかいらは、
まぶねにふせる 御子をおがみぬ。

4 きょうしも御子は うまれたまいぬ。
世界の民よ、よろこびうたえ。

ア - メン。

ルカ2：8-20

いそぎ来たれ、主にある民

Adeste fideles, laeti, triumphantes
詞：ラテン語聖歌、17～18世紀

ADESTE FIDELES
曲：John F. Wade, 1711-1786

1 いそぎきたれ、主にあるたみ、
2 ひかりの主よ、かみのかみよ、
3 いまわれらも、ともになうたわん、
4 とこしえなるかみのことば

み子のうまれしベツレヘム。
おとめマリアを母として
にたくかいたりしこのよき日。

うたえ、いまわしえ、てんしらとともに。
「みさかえあつれ、いとたかきかみに」。
「み栄えあれ、いと高き神に」。

(くりかえし)

きたりておがめ、きたりておがめ、

きたりておがめ、いざ、ともに。

(♩=116)

- 1 いそぎ来たれ、主にある民、
み子の生まれしベツレヘム。
うたえ、祝え、天使らとともに。

(くりかえし)

- きたりておがめ、きたりておがめ、
きたりておがめ、いざ、ともに。

- 2 光の主よ、神の神よ、
おとめマリアを母として
生まれまししみどり子、主イエスよ。

- 3 今われらも共に歌わん、
み使いたちと声あわせ、
「み栄えあれ、いと高き神に」。

- 4 永遠なる神のことば
肉となりにしこのよき日。
迎えまつれ、人なる主イエスを。

ルカ2：15-16 ヨハ1：14 イザ25：9

ア-メン。

Il est né, le divin Enfant
詞：18世紀フランス・カポル
(斉唱)

IL EST NÉ, LE DIVIN ENFANT
曲：18世紀フランス・カポル
(編曲) 松田孝一, 1967

♩=126 おうまれのイエスさまが 笛ふけ太鼓をならせよ

おうまれのイエスさまが みんなでうたをうたおう

(合唱)

このよろこびの日を かみのたみはよげし

むかしむかしから わたしたちもまっていた

(斉唱) (合唱)

おうまれのイエスさまが 笛ふけ太鼓をならせよ

(斉唱) (合唱)

おうまれのイエスさまが みんなでうたをうたおう

ルカ 2:29-32

おうまれのイエスさまが、^{はね}笛ふけ^{たいこ}太鼓を鳴らせよ、
 おうまれのイエスさまが、みんなでうたをうたおう。
 このよろこびの日を かみのたみは^{よげ}預言し、
 むかしむかしから わたしたちもまっていた。
 おうまれのイエスさまが、^{はね}笛ふけ^{たいこ}太鼓を鳴らせよ、
 おうまれのイエスさまが、みんなでうたをうたおう。

森井 真 訳

きよしこの夜

Stille Nacht, heilige Nacht!
詞 : Josef Mohr, 1782-1848

STILLE NACHT
曲 : Franz Gruber, 1787-1863

き - よ し こ の よ る ほ し は ひ か り、

す く い - の み - 子 は ま ぶ ね - の な - か に

ね む り - た も う - 、 や - す ら - か に - 。

(♩=96)

- 1 きよしこの夜 ^{よる}星はひかり、
すくいのみ子 ^こは まぶねのなかに
ねむりたもう、やすらかに。
- 2 きよしこの夜 ^{よる}み ^つ告げうけし
ひつじかいらは ^こみ ^まえの御前に
ぬかずきぬ、かしこみて。
- 3 きよしこの夜 ^{よる}み ^この ^え笑みに、
あたらしき代 ^よの あしたのひかり
かがやけり、ほがらかに。

ア - メ ン 。